



お薬を嫌がるときに

川崎市病児保育施設

エンゼル川崎

エンゼル中原

エンゼル宮前

エンゼル麻生

お子さんにお薬を飲ませるのに苦労したことはありませんか？
エンゼルでは主治医指示書に基づいてお預かりしたお薬をお子さんに飲ませていますが、なかにはお薬が苦手な嫌がるお子さんがいます。今回はそんな時にしている工夫をご紹介します。



エンゼルで子どもへの説明に使用しているイラストです。

なぜお薬を飲むのかな？

「お熱が下がって元気になるよ」
「お咳が止まって楽になるよ」
「お薬が風邪ばい菌をやっつけるよ」など
年齢に合わせて薬の効果を説明します。
「飲まないと〇〇だよ」等ではなく、飲むと期待
できることを肯定的な表現で伝えています。

どうやって飲む？ 相談して決めよう。

自分で選択できる年齢の子には小さいことでも本人に選んでもらうようにしています。

自分で決めたことなら頑張れる子が多くいます。

お家ではどのように飲んでいるのか保護者の方に伺って、なるべくお家での飲み方に近づけるようにもしています。

どっちのお薬から 飲もうか？

スプーンに乗せるのと お水に溶かすのは どちらがいい？

お水はどっちのコップに入れようか？

ストローやスポイトも あるよ。

😊😊 粉薬をペーストに 😊😊

見た目が変わると興味をもってお口に入れてくれることがあります。吐き出しにくいように頬の内側に塗り付けるようにして飲ませる方法もあります。ペーストを入れた後は水を飲ませます。



1. 粉薬の袋を開けて 水をごく少量ずつ加えて 練ります。1滴ずつ足して 様子を見ましょう。



2. ペースト状になったら スプーンに取ります。 丸くまとめてもよいですね。